

日野市役所 本庁舎2階レイアウト変更

本庁舎2階フロアリニューアルし、来庁者と職員にやさしいオフィスを実現

お客様情報

【組織名】

日野市役所

【所在地】

東京都日野市仲明1-12-1

【URL】

<https://www.city.hino.lg.jp/>



日野市



日野市 総務部 財産管理課 松本 晃河 様

導入背景・課題

- 来客環境及び執務環境の見直し
 - ・ 来庁者の通路幅の狭さ
 - ・ 執務スペースの密解消
 - ・ 執務スペースの通路幅の狭さ
- 部署移転に伴う本庁舎2階フロアの見直し
- 保管文書の量

本案件のポイント

- 基本プランに基づく実施レイアウトプラン作成能力
- 電話、LANやOA機器の移設もワンストップで施工
- 既存什器を活用したコスト低減策
- 4か月間で、機器調達および閉庁日のみで施工
- 関係7部署との業務調整

施工範囲

- 間仕切り
- 内装
- 電気配線
- 電話・LAN配線
- 新規什器搬入・据付
- 既存什器移動



お客様の声

- 執務環境の見直しをきっかけに、他の部署にまで文書量削減やペーパーレス化の意識が生まれた。
- 会議室の増設要望が多く、飽和する会議室に対応するため、隣接する市民会館の会議室も含めて案内を行っていたが、レイアウト改修後は要望がぱったり無くなった。
- 今回のプロジェクト参画にあたっては、せっかくなら入庁希望者が増えるフロア環境にしたいという自身のテーマをもって取り組んだ。見直し後、新入庁職員から好意的な意見があり、意義があったと感じている。
- プロジェクトを推進する上では、図面や写真だけではなく、東洋通信工業のオフィス見学を通じて実際のオフィスを見たことで、プロジェクトメンバーとゴールとなるビジョンを共有することができ円滑に進んだ。今後同様の案件では、プロジェクトメンバーだけでなく、関係部署のリーダーとも具体的なビジョンを共有することで、より効率的に業務を遂行し、市民の皆さまや職員に貢献していきたい。

(日野市 総務部 財産管理課 松本様)

詳しくは裏面へ

問い合わせ先

東洋通信工業株式会社

住 所：東京都新宿区新宿6丁目25-7

電話番号：03-6233-1750（代表）

営業担当：

ホームページはこちら⇒
デジタルオフィスツアー公開中！



導入背景・課題 詳細

みらいくのオープンに合わせて2階フロア見直し

日野市は、すべての子どもの健やかな成長を切れ目なく支援する、子ども・家庭・地域の子育て機能の総合支援拠点として、「日野市子ども包括支援センターみらいく」が2024年5月にオープンしました。

それに伴い、本庁舎2階から子ども部が移転するため、2階フロアを見直し、あわせて執務環境及び来客環境の改善を図りました。2階フロアの東西通路は、高齢者福祉などハンディキャップがある来庁者が利用する場所ですが、従前は車いすの来庁者同士がすれ違うことは困難でした。

執務スペースは、通路幅が狭く、職員がスムーズに通ることができませんでした。また、部署と部署の間仕切りにハイキャビネットを設置して利用しており、採光の面だけでなく防災上も課題でした。

本案件のポイント 詳細

来庁者と職員にやさしい環境に向けて

今回2階フロアを見直すにあたって、既存什器も活用し極力コストを低減しつつ、来庁者にやさしいフロア設計の観点や防災上の観点、将来的に新しい働き方を検討するという観点で設計しました。

来庁者スペース

来庁者にやさしいバリアフリーの観点では、車いす同士でも余裕をもって通行できるように、通路の2,2m以上を確保するレイアウトにしました。また、来庁者との面談をプライバシーに配慮して行えるように、パーティションを活用し4部屋まで面談室の室数を拡充させました。

**執務スペース**

執務スペースの通路幅の確保と将来的なレイアウト変更や新しい働き方を今後検討しやすくするため、机を統一しレイアウトを見直しました。防災上の観点では、壁や柱に固定できないハイキャビネットの設置を廃止したことで、結果的に見通しのいい採光の取れた明るい空間になり、来庁者にとっても過ごしやすくなったかと考えています。

文章量削減への取り組み

今回のプロジェクトの方針として3割減を実現するため、文書量調査を行い、削減目標を立てた上で、レイアウト設計に反映しました。また、働く環境調査を職員へ行うことでより現場の求めている職場づくりができるよう取り組みました。

**プロジェクトの遂行**

今回の施工においては、庁舎を新築する場合と異なり、通常の業務を行いながら、本庁舎の2階のレイアウトの変更及び事務什器、電話、OA機器の見直しをする必要がありました。市民部と健康福祉部の合計7部署の約200名が対象となりました。各部署と調整を重ね、日々の業務に支障が無いように、対象部署を決め、1部署ずつ金曜日の定時後から日曜日にかけて施工およびレイアウト変更し月曜日に運用チェックをしました。そのサイクルを2か月間毎週繰り返し完工しました。